

国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部・精神科で 包括的てんかん検査入院をされた方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部で受診した際の診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2020年4月1日より2025年12月31日までの間に、てんかん診療部・精神科でPNES（心因性非てんかん発作）の診断を受けた方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立精神・神経医療研究センター病院

所属・氏名：てんかん診療部・谷口豪

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：PNES（心因性非てんかん発作）のBPS-3Psモデルに基づく病態分析—医療電子カルテデータのテキストマイニング—

研究期間：研究実施許可受領後～2029年3月31日まで

研究代表者（研究責任者）：国立精神・神経医療研究センター病院 谷口豪

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：なし

（取得方法）

情報等：電子カルテ上の臨床情報【患者背景（年齢、性別、発達歴、生活歴、家族歴、既往歴、嗜好歴）、病歴（発作型、発作頻度、服薬歴）、入院中記録、外来フォローアップ時記録】

（取得方法）診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究は、PNES 患者の臨床情報を後方視的に解析し、PNES の病態を生物・心理・社会的側面から整理することを目的としています。電子カルテに記載された情報をもとに、BPS-3Ps モデルに基づいた病態整理を行い、PNES の臨床的特徴の把握を試みます。

研究を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報に対して加工処理を行い、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じます。個人情報の管理にあたっては、「国立精神・神経医療研究センターの保有する個人情報の保護に関する規定」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守します。

なお、本研究で収集したデータは、将来、当センター倫理委員会の承認を得たうえで、別の研究に二次利用される可能性があります。その場合には、別途、研究の実施に関する情報公開を行います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

2026年9月までに診療情報等の利用・提供を拒否する旨のお問い合わせをいただいた場合、データ利用をいたしません。利用・提供を拒否されたい方は、上記の日時までにお申し出ください。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立精神・神経医療研究センター病院

所属：てんかん診療部 氏名：谷口 豪

電話番号：042-341-2711（内線：3241）

e-mail：gtaniguchi※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）